

(仮称) 水道アプリの開発に着手します。

上下水道部 企業経営課

電話：0284-22-7916

安定した水道検針業務の継続及び水道事業におけるペーパーレス化を目的とした(仮称)水道アプリの開発に取り組むこととしましたのでお知らせします。

1 趣旨

本市の上水道を取り巻く環境が厳しさを増すなか、持続可能な運営を行うために、中長期的な視点に立ち効率的な運営を推進する必要があります。そのためには、現在の仕組みを見直し、様々な場面においてデジタル環境への転換を図ることが必要です。

そこで、今回、検針業務の継続及び水道事業におけるペーパーレス化を目的に、(仮称)水道アプリの開発に取り組むこととしましたので、報告するものです。

2 (仮称)水道アプリの内容

今回、開発する(仮称)水道アプリには、以下の3つの機能を持たせることを考えています。

- ・水道メーター検針システム
- ・水道料金等の確認システム
- ・オンライン決済システム

(1) 水道メーター検針システムの構築

現在、水道料金等の算出は、検針員が利用者敷地内を2か月に1度訪問し、敷地内に設置してある水道メーターを検針後、利用者に検針票を渡す仕組みとなっています。この検針業務に不可欠な検針員は、労働条件や単価の低さ、高齢化などによる「なりて不足」から、現在の仕組みの継続が困難になることが予想されます。

そこで、今後も安定した検針業務を継続するため、来年度、実証実験を実施予定のスマートメーターのほか、新たな選択肢の1つとして、水道メータ

一検針システムを構築し課題解決を図るため、水道メーター検針システム（試作版）を開発するものです。

（仮称）水道アプリを、自身の保有するスマートフォン（※1）に無償ダウンロードすることで利用可能となります。利用方法等は以下の通りです。

ア 水道メーターの読み取り

アプリを起動後、自宅敷地内にある水道メーターを写真撮影すると、自動で送信用データへの変換作業を開始します。正常に変換できなかった場合は、写真をもとに手動での補正入力も可能です。

イ データの送信

送信用データ（写真含む）をデータセンターに送信します。通信費は個人負担となります。（作業時間は約2分～3分の見込み）。

(2) 水道料金等の確認システムの構築

送られた検針データを基に、WEB上で、水道料金や過去の水道使用量との比較、漏水の恐れなどについて、確認や報告する仕組みを構築します。

（検針票は将来、全廃の方針）

(3) オンライン決済システムの構築

送られた検針データから算出された水道料金を、WEB上のQRコードやバーコードなどや、スマートフォン決済などで料金を支払うことができる仕組みを構築します。

（納入通知書は将来、全廃の方針）

3 （仮称）水道アプリの実証実験について

現在検討しているシステムの構築にあたり、検針データの正確な送信及びデータセンターでの取り扱いの確認が重要となることから、水道メーター検針システム（試作版）の実証実験を、令和6年3月1日から令和7年3月末までの間、市民モニターや一部の市職員世帯と検針員（数名）を想定し実施する予定です。

その後、システムの安定した運用が可能であることが証明できたのち（令和7年度以降の見込み）、一般市民モニターを募り、市内での本格運用を開始する予定です。

4 アプリ開発委託について

(仮称)水道アプリの開発については、徳永C I O補佐官とともに、行政手続きのオンライン化業務の検討を実施した企業である、S o l a 株式会社（東京都千代田区外神田 6-14-3 VORT 末広町Ⅱ5F）と契約しました。

S o l a 株式会社は、本市の物品購入・業務委託等認定業者登録名簿の「情報処理」のうちアプリの開発を登録している業者でもあります。

5 その他

- (1) 契約日 令和5(2023)年12月13日
- (2) 委託期間 契約日から令和6(2024)年2月29日
- (3) 委託料 990,000円(税込み)

※1 端末機種は iPhone、Android とし、ブラウザは Firefox、Safari、Edge、Chrome をサポート予定

システム構成図(案)

